

平成 29 年 12 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 29 年 12 月 27 日（水） 午後 1 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 3 0 1

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	長 谷 川 智
学 校 教 育 課 長	堀 克 彦	子 育 て 支 援 課 長	白 井 健 次
社 会 教 育 課 長	宮 路 一 規		

5 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 2 名

6 傍聴人

2 名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 14 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案

議案第 46 号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

平成 29 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

（1）一般質問の概要

（2）分水小学校区における保育園整備事業説明会について

（3）その他

8 その他

9 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後 1 時 30 分～

2. 会議録署名委員の指名 中 野 信 男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 12 月市議会定例会が閉会し、平成 30 年度の当初予算の編成が本格的に始まっている。様々な課題を解決するため必要な予算を獲得できるようにしたい。

2 平成 29 年 12 月市議会の報告

- 教育委員会関連の議案は補正予算も含めて全て可決をいただいた。市教育委員会では、学用品や入学にかかる費用を負担に感じている小中学生の家庭を対象とした就学援助制度のうち、学校に入学する際の新入学用品費の支給時期を、これまでの 7 月末から 3 月中旬に変更し支給することとした。なお、支給額は、小学生で 40,600 円、中学生で 47,400 円である。

【一般質問】

- 児童クラブにおける食物アレルギー対応について
- 小学生の観光ボランティア活動と次年度以降の取り組みについて
- 幼保施設の民営化推進について
- 教育立市宣言をしている燕市の公教育のあり方について
- 一時保育の拡充におけるその後の検討状況について
- 女性の労働実態に係る保育園等の未満児の受け入れ状況について
- 新学習指導要領における道徳や英語教育に対する取り組みについて
- 教職員の多忙化解消や部活動への対応とその取り組みについて
- 特別支援教育充実のための人員拡充について
- 学校での不審者から児童生徒や職員を守る安全管理について
- 文化財公開活用事業(ブラつばめ)について
- 発達障害に対応した適切な介助員の配置について
- 県立アリーナ建設を求める動きに対する本市の対応について
- 市内中学校運動部の区域外就学の現状と見解について

- 「あすチャレ！スクール」の実施に伴う生徒及び教育委員会の感想について

#### 【議員協議会】

- 分水小学校区における保育園整備事業説明会の概要を説明した。

### 3 12月行事予定より

#### (1) 南相馬市スポーツ復興祈念第30回野馬追の里健康マラソン大会(12/3)

- 南相馬市とは、平成25年7月に「災害時相互応援に関する協定」を結び、現在は職員派遣などを続けているご縁があり、標記大会に分水ジュニア陸上教室の児童生徒と指導者を合わせて10人が参加した。
- 惜しくも入賞した児童生徒はいなかったが、天候に恵まれ力を発揮していたものと考えている。また、燕マラソン大会の拡充に向けて参考になった。

#### (2) 市内高校の特色化に係る分水高校での出前講座(12/20)

- 市長によるまちづくり出前講座が分水高校1年生を対象に「10年後社会で活躍できる”ジブン”になるために」と題して行われた。
- 県教育委員会が示す小規模校のあり方を踏まえ、燕市と弥彦村が協働し、地域とも連携しながら吉田高校と分水高校の特色化に取り組むこととしている。この特色化により、両校の魅力が志願者の増加に繋がることを期待しており、生徒には様々な力を身につけ、将来社会で貢献してほしい。

### 4 ひとり親家庭等の生活実態に関するアンケート結果

- この調査は、今年8月に社会福祉課において、児童扶養手当や就学援助を受給されている方を対象に標記のアンケートを実施した。
- その結果、子どもへの費用の負担感は、「生活用品」が23.7%、「授業料・給食費」、「学用品・学校諸費」、「入園・入学に係る費用」がいずれも20%台であった。また、子どもの悩みについては、「進路・将来」のことが70.7%で、「教育費」が48.4%を占めた。
- 国では、幼児教育と保育の無償化をはじめ、大学授業料の卒業後の所得に応じて返済する方式や給付型奨学金制度の拡充などについて検討している。

### 5 国や県の動き

#### (1) 教員の負担軽減対策

- 文部科学省は、来年度から公立学校の業務を支える外部人材を積極的に導入し、約7,500人を活用することを決めた。
- そのうち、公立中学校の部活動指導員として4,500人の配置を想定していると同時に、適切な練習時間や休養日を設定する教育委員会に人件費の一部を補助するとのこと。なお、文化系の部活動も対象になる。

- 残る 3,000 人は、「スクール・サポート・スタッフ」として雇用する。このサポート・スタッフは、配布物の印刷や会議の準備など事務作業に従事し、教員の業務負担の軽減を図ることがねらいである。

#### (2) 県いじめ防止基本方針の改定

- 今年 3 月に改訂した国の基本方針を反映させるとともに、県の第三者委員会がこれまでにまとめた報告書の指摘事項を踏まえて改訂案を公表した。
- 改訂では、いじめの対応にあたっては、いじめに気づいた教員だけでなく、学校や教育委員会が組織全体で対応することを明記した。また、いじめの対策組織を校長が定期的に点検することになっている。

### 6 終わりに

- 12 月 18 日に県立中等教育学校の志願倍率が公表され、燕中等教育学校は、定員 80 人のところ 88 人が志願し、1.1 倍であった。なお、選考検査は 1 月 6 日(土)で、作文・グループ活動、面接が行われ、合格発表は 1 月 14 日(日)である。現在は、市立中学校の他、公立中等教育学校や私立中学校も選択できることから、地域に根ざした特色ある学校づくりは公立の小中学校も重要課題と考える。
- 平成 29 年もあと数日となったが、大きな事故や事件もなく安堵している。新年も園や学校などしっかりと連携し、常にスピード感と危機意識をもちながら事務を統括していきたい。

#### (3) 寄附報告

2 件の寄附報告について  
〈堀学校教育課長が報告〉

### 4. 専決処分の報告について

報告第 14 号 共催・後援の教育長専決報告について  
4 件の後援について  
〈No. 1、2 について宮路社会教育課長が説明〉  
〈No. 3、4 について堀学校教育課長が説明〉

### 5. 議 案

議案第 46 号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について  
〈宮路社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案 46 号は原案通り議決された。

6. 平成 29 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

（1）一般質問の概要

〈山田教育次長が説明〉

（2）分水小学校区における保育園整備事業説明会について

〈白井子育て支援課長が説明〉

○委員（黒川 優子）

地蔵堂保育園や笈ヶ島保育園での保護者説明会の出席者が非常に少ないが、これはもう状況を受け入れ不安がないということからこの人数なのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

今回の各園における保護者説明会の出席者は、多くはありませんでしたが、現在の在園児の保護者うち、平成 33 年 4 月の開園時に在園予定の 0 歳児と 1 歳児の保護者については、多くの方から出席をいただきました。このことから、保護者の関心が高いものと捉えております。

（3）その他

〈堀学校教育課長が説明〉

7 閉 会 午後 2 時 24 分

教 育 長 仲野 孝

---

会議録署名委員 中野 信男

---

会議録調整者 竹田 亮子

---